

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 華陽フロンティア高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月2日(日) 10:00～12:00
- 3 開催場所 華陽フロンティア高等学校 本館1階 会議室
開催にあたり、委員による授業(スクーリング)参観を実施した
- 4 参加者

会 長	安田 和夫	岐阜聖徳学園大学教育学部 教授
副会長	廣瀬 富久夫	本校同窓会 会長
委 員	臼井 悟	鵜自治会連合会 会長(欠席)
	森 紀子	本校校友会 会長
	小山 まい子	本校PTA 会長
	南谷 東子	人権擁護委員
	藤田 駿	岐阜南署地域課県庁前交番所長(代理)
学 校 側	早矢仕 賢治	校長
	野田 美奈子	副校長
	有田 美穂	事務部長
	美濃島 広幸	教頭(定時制課程)
	野田 潤哉	教頭(通信制課程)
	野村 直志	教務主任(通信制課程)
	渡邊 友也	生徒指導部長(通信制課程)
	後藤 尋史	進路渉外部長(通信制課程)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 通信制課程の現状と課題について

(2) 学校評価アンケートについて

① 定時制課程(生徒・保護者) ②通信制課程(生徒・保護者)

○本校の教育活動について

意見1:授業参観では、ICTの活用により直接生徒と話す機会が少なくなり、コミュニケーション能力を身につける機会を増やすことも大切である。

意見2:人権意識や対話を大切にする施設が充実していた。交通安全について、令和8年4月1日より自転車違反には反則金が課せられるようになる。事前に自転車のマナーについての研修を行ってほしい。

意見3:授業のプレゼンテーションの文字は、UDフォントで統一されており、分かりやすい。板書の文字の色は、視覚に障がい(弱視、色覚特性)がある生徒にとって、赤色と青色の文字が読み取りづらいので、ユニバーサルデザイン的な観点で考えると検討が必要。対処法として、例えばハイライトをつける方法がある。少しずつユニバーサルデ

ザイン的なノウハウを蓄えるとよい。

意見4：パワーポイントの文字がとても読みやすかった。生徒にとって本校の教育活動が安全・安心で学びの多い学校であると他校に話をしている。

意見5：授業態度が良かった。母校を大切に思う生徒が少なくなっているように感じる。母校への思いを育ませて卒業させてほしい。

意見6：「華フロ café」はすばらしい取り組みである。来年度以降もぜひ継続してほしい。

意見7：学び直しのカリキュラムについて、不登校を経験した生徒たちにとって大変よいカリキュラムであると感じる。

6 会議のまとめ

- ・学校評価アンケート結果に基づいて意見交換を行った。後期の教育活動に生かしていきたい。
- ・本校の教育活動に寄せる期待や要望を多く聴くことができる貴重な機会となった。
- ・次回は、2月に本年度の反省と次年度への取り組みについて、意見や提言を集約する予定である。